

対象教科・科目		単位数	対象学科・学年・クラス		備考
保健体育	保健	1 単位	全学科	2 年 6 クラス	必修修科目

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	個人および社会全体における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店 保体 304)
副教材等	現代高等保健体育 ノート (大修館書店 保体 304)

2 学習計画

学期	学習項目	学習の具体的内容
1 学期	オリエンテーション	授業の進め方について説明
	第 2 単元 生涯を通じる健康	
	1、思春期と健康	生涯を通じて健康に生きていくために、現在、私たちが生きていく上でどのような健康問題があるのか、またそれらにどのように対処していけばいいのかを学ぶ。
	2、性意識と性行動の選択	性意識や性的欲求は男女で異なることを理解し、異性を尊重する態度を身に付ける。
	3、結婚生活と健康	性に関する正しい情報を選び、自分の意志と判断で行動することを理解する。
	4、妊娠・出産と健康	妊娠中や出産後の健康管理の重要性や配慮すべきことについて理解を深める。
	5、家族計画と人工妊娠中絶	望まない妊娠をしない為の知識を学ぶ。
2 学期	6、加齢と健康	加齢にともない、心身が変化することを形態面および機能面から理解できるようにする。
	7、高齢者のための社会的とりくみ	わが国の世界一の高齢化の早さの現状を知り、高齢者のための社会的取り組みについて学習する。
	8、保健制度とその活用	生涯を通じて健康を保持増進するためには、保健・医療制度は欠くことのできないものである。そのために、保健・医療制度のしくみや活用のしかたを学ぶ。 医薬品の効能や副作用、正しい使用の方法や留意点を学ぶ。 人々の健康の保持増進を図るために、国や世界で行われている様々な保健活動や対策について学ぶ。
	9、医療制度とその活用	
	10、医薬品と健康	
11、さまざまな保健活動や対策		
第 3 単元 社会生活と健康		
3 学期	1、大気汚染と健康	私たちの生命には大気・水・土壌などの環境が必要不可欠である。これらの環境が汚染されたら、私たちの健康に及ぶ影響は大きい。
	2、水質汚濁・土壌汚染と健康	これらの環境を主体的に守る取り組みを考えさせる。
	3、健康被害の防止と環境対策	健康汚染による健康被害を防ぐために、どのような対策が取られているかを学ぶ。
	4、環境衛生活動のしくみと働き	健康的に日常生活を営む上で必要不可欠な環境衛生活動のしくみについて学ぶ。
	5、食品衛生活動のしくみと働き	環境や食品にかかわってどのような保健活動が行われているのか、健康被害の危険性を減らすために私たちはどのような役割を果たすべきか学ぶ。
	6、食品と環境の保健と私たち	
	7、働くことと健康	
	8、労働災害と健康	現代における職業病や労働災害について理解し、職場での総合的な安全管理や、人びととの積極的な健康づくりの方法などについて学ぶ。
	9、健康的な職業生活	将来健康な職業生活を送るために、より積極的に心と体の健康づくりに取り組む必要がある。そうした取り組みや余暇の活用の仕方について学ぶ。

3 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容		評価方法
関心・意欲・態度	保健についての関心を持ち、意欲的に取り組む態度が身についているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・ノートの作成状況
思考・判断・表現	保健についての思考を深め、その活用方法を適切に判断し、効果的な利用を工夫できているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・ノートの作成状況
技能	保健に関する基本的な技術を習得し、その結果を的確に表現することができているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・ノートの作成状況
知識・理解	保健に関する基礎的な知識を身に付け、その役割について理解できているか。	・定期考査の知識・理解に関する問題